

|                         |  |         |   |  |
|-------------------------|--|---------|---|--|
| 1. 科目名 (単位数)            | ソーシャルワークの理論と方法 I (4 単位)  |         | 3. 科目番号                                   | SSMP2157<br>SNMP3357<br>SCMP2157<br>SBMP2157<br>SPMP2157<br>SSMP3157<br>PSMP2457 |
| 2. 授業担当教員               | 三田 真外  |         |   |  |
| 4. 授業形態                 | 講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ  | 5. 開講学期 | 秋期  |  |
| 6. 履修条件・他科目との関係         |  |         |   |  |
| 7. 講義概要                 | <p>本科目は、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）と、様々な実践モデル及びアプローチについての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術を学習する。また、ケアマネジメントや集団を活用した支援、コミュニティワーク等の理論と展開方法、専門職に必要な、スーパービジョンやコンサルテーションの専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験及び精神保健福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p> |         |   |  |
| 8. 学習目標                 | <p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人と環境との相互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</li> <li>2. ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</li> <li>3. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</li> <li>4. コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</li> <li>5. ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</li> </ol>   |         |   |  |
| 9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題 | <p>レポート課題 (1500字以上) と確認テストを数回実施する。<br/>※レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。</p>   |         |   |  |
| 10. 教科書・参考書・教材          | <p>【教科書】<br/>一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集<br/>『ソーシャルワークの理論と方法 (共通科目) 最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座共通科目⑫』中央法規出版、2021 年 1 月</p>   |         |   |  |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法       | <p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解)</li> <li>・5つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)</li> <li>・5つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>○評定の方法<br/>レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価</p>  |         |   |  |
| 12. 受講生へのメッセージ          | <p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する (した) 場合は書面で教員に届け出ること。</li> <li>②レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。</li> <li>③私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。</li> </ol>   |         |   |  |
| 13. オフィスアワー             | 初回の講義で発表する。  |         |   |  |
| 14. 授業展開及び授業内容          |  |         |   |  |
| 講義日程                    | 授業内容   | 学習課題    |   |  |
| 第1回                     | オリエンテーション シラバス、講義概要、試験・レポート課題についての説明   | 事前学習    | シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。        |  |
|                         |  | 事後学習    | ソーシャルワークの理論と方法 I のねらいについて講義用ノートにまとめる。     |  |
| 第2回                     | 人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク (1) ソーシャルワーカーが学ぶ理論・システム理論・生態学理論   | 事前学習    | 教科書の pp. 1~21 を読んでくること。                   |  |
|                         |  | 事後学習    | ソーシャルワークの理論について、講義の要点をノートにまとめる。           |  |
| 第3回                     | 人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク (2) バイオ・サイコ・ソーシャルモデル  | 事前学習    | 教科書の pp. 22~27 を読んでくること。                  |  |
|                         |  | 事後学習    | ソーシャルワークモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。           |  |
| 第4回                     | 人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク (3) ミクロ・メゾ・マクロソーシャルワーク  | 事前学習    | 教科書の pp. 28~41 を読んでくること。                  |  |
|                         |  | 事後学習    | ミクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク視点について、講義の要点をノートにまとめる。 |  |
| 第5回                     | ソーシャルワークの過程 (1) ケースの発見・インテーク   | 事前学習    | 教科書の pp. 42~57 を読んでくること。                  |  |
|                         |  | 事後学習    | ケースの発見方法とインテークについて、講義の要点をノートにまとめる。        |  |

|      |   |      |  |
|------|---|------|--|
| 第6回  | ソーシャルワークの過程(2)<br>アセスメント  | 事前学習 | 教科書の pp. 58～75 を読んでくること。                         |
|      |   | 事後学習 | アセスメントについて、講義の要点をノートにまとめる。                       |
| 第7回  | ソーシャルワークの過程(3)<br>プランニング  | 事前学習 | 教科書の pp. 76～93 を読んでくること。                         |
|      |   | 事後学習 | プランニングについて、講義の要点をノートにまとめる。                       |
| 第8回  | ソーシャルワークの過程(4)<br>支援の実施とモニタリング                                      | 事前学習 | 教科書の pp. 94～105 を読んでくること。                        |
|      |   | 事後学習 | 支援実施とモニタリングについて、講義の要点をノートにまとめる。                  |
| 第9回  | ソーシャルワークの過程(5)<br>終結・評価・アフターケア                                      | 事前学習 | 教科書の pp. 106～119 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | 支援の終結と結果評価、アフターケアについて、講義の要点をノートにまとめる。            |
| 第10回 | 中間まとめ①<br>確認テスト・グループディスカッション  | 事前学習 | 第1回から第9回までの講義要点の再確認をしておくこと。                      |
|      |   | 事後学習 | ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。                          |
| 第11回 | ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(1)<br>治療モデル・ストレングスモデル・生活モデル                    | 事前学習 | 教科書の pp. 120～127 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルワークの実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。               |
| 第12回 | ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(2)<br>心理社会的アプローチ・機能的アプローチ・問題解決アプローチ・課題中心アプローチ  | 事前学習 | 教科書の pp. 128～141 を熟読し、モニタリングについて理解する。            |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。                |
| 第13回 | ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(3)<br>行動変容アプローチ・認知アプローチ・危機介入アプローチ・エンパワメントアプローチ | 事前学習 | 教科書の pp. 142～159 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。                |
| 第14回 | ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(4)<br>ナラティブアプローチ・解決志向アプローチ・さまざまなアプローチ          | 事前学習 | 教科書の pp. 160～185 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。                |
| 第15回 | ソーシャルワークの面接 面接の意義と目的・方法   | 事前学習 | 教科書の pp. 186～209 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルワークの面接について、講義の要点をノートにまとめる。                  |
| 第16回 | ソーシャルワークの記録 記録の意義と目的・内容   | 事前学習 | 教科書の pp. 210～239 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルワークの記録について、講義の要点をノートにまとめる。                  |
| 第17回 | ケアマネジメント(1) 原則  | 事前学習 | 教科書の pp. 240～244 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ケアマネジメントの原則について、講義の要点をノートにまとめる。                  |
| 第18回 | ケアマネジメント(2) 意義と方法   | 事前学習 | 教科書の pp. 245～255 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ケアマネジメントの意義と方法について、講義の要点をノートにまとめる。               |
| 第19回 | グループを活用した支援(1) 意義と目的  | 事前学習 | 教科書の pp. 256～267 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | グループワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。                |
| 第20回 | グループを活用した支援(2)<br>展開過程・セルフヘルプグループ                                   | 事前学習 | 教科書の pp. 268～279 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | グループワークの展開過程について、講義の要点をノートにまとめる。                 |
| 第21回 | 中間まとめ②<br>確認テスト・グループディスカッション  | 事前学習 | 第10回から第20回までの講義要点の再確認をしておくこと。                    |
|      |   | 事後学習 | ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。                          |
| 第22回 | コミュニティワーク(1)<br>コミュニティワークの意義と目的                                     | 事前学習 | 教科書の pp. 280～285 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | コミュニティワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。              |
| 第23回 | コミュニティワーク(2)<br>コミュニティワークの展開  | 事前学習 | 教科書の pp. 286～294 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | コミュニティワークの展開について、講義の要点をノートにまとめる。                 |
| 第24回 | コミュニティワーク(3)<br>コミュニティワークの理論的系譜とモデル                                 | 事前学習 | 教科書の pp. 295～301 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | コミュニティワークの理論的系譜とモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。          |
| 第25回 | ソーシャルアドミニストレーション<br>ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義・実践モデル                    | 事前学習 | 教科書の pp. 302～317 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義・実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。 |
| 第26回 | ソーシャルアクション<br>ソーシャルアクションの概念と意義・コミュニティオーガナイズ                         | 事前学習 | 教科書の pp. 318～339 を読んでくること。                       |
|      |   | 事後学習 | ソーシャルアクションの概念と意義について、講義の要点をノートにまとめる。             |

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| 第27回 | スーパービジョンとコンサルテーション (1)<br>スーパービジョンの意義・目的・機能  | 事前学習 | 教科書の pp. 340～344 を読んでくること。             |
|      |  | 事後学習 | スーパービジョンの意義・目的・機能について、講義の要点をノートにまとめる。  |
| 第28回 | スーパービジョンとコンサルテーション (2)<br>スーパービジョン関係・形態・実施   | 事前学習 | 教科書の pp. 345～350 を読んでくること。             |
|      |  | 事後学習 | スーパービジョン関係・形態・実施について、講義の要点をノートにまとめる。   |
| 第29回 | スーパービジョンとコンサルテーション (3)<br>コンサルテーションの意義・目的・方法 | 事前学習 | 教科書の pp. 351～354 を読んでくること。             |
|      |  | 事後学習 | コンサルテーションの意義・目的・方法について、講義の要点をノートにまとめる。 |
| 第30回 | まとめ  | 事前学習 | これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書きにする。              |
|      |  | 事後学習 | 学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。             |
| 期末試験 |  |      |  |